

学生会員の活躍

学会賞



皆さんには薬剤耐性菌をどう存じでしようか。薬剤耐性菌とは、抗菌薬に対しても耐性を得た細菌の総称のことです。通常、ヒトや動物が病原細菌によって感染症に罹患した場合、治療のために抗菌薬が用いられます。しかししながら、薬剤耐性菌が原因となる細菌感染症では、抗菌薬が効かないため、治療が困難になります。そのため、薬剤耐性菌による感染症は、公衆衛生上の重大な脅威として知られています。

鶴窓会だよりを「」覧の皆さん、ここには農学研究科農学専攻生物環境学領域1年齋藤静香です。この度、Water and Environment Technology Conference Online 2023 (WET) に発表した「In-vitro Experiment to Evaluate Persistence of Coliform Bacteria Producing Extended-Spectrum β -lactamase and Conservation of Relevant Genes」

鶴窓会だよりを「」覧の皆さん、ここには農学研究科農学専攻生物環境学領域1年齋藤静香です。この度、Water and Environment Technology Conference Online 2023 (WET) に発表した「In-vitro Experiment to Evaluate Persistence of Coliform Bacteria Producing Extended-Spectrum β -lactamase and Conservation of Relevant Genes」

この耐性菌の拡大には、細菌剤耐性菌リストを公開し、各国で耐性菌の拡大を防ぐための対策が始まっています。この耐性菌の拡大には、細菌の生き残りやすさ(生残性)と耐性遺伝子が関係しておる、それらが長期間生残したり、細菌間での遺伝子の移動(水平伝播)をしたりする

ことが原因として認識されています。しかしながら、環境中で耐性菌がどれくらいの期間生存するのか、耐性遺伝子を保持しているのかについて調べた研究はほとんどありませんでした。

こうした背景から、私はWHOの薬剤耐性菌リストに含まれている基質拡張型 β -lactamases (ESBL) 遺伝子を保有している耐性菌株の、環境中での生残性とそれら

の遺伝子の保存性を評価する実験を行いました。ESBLとは、従来の β -ラクタム系抗生物薬(i.e.ペニシリンなど)が効かなくなり、類似した他の β -ラクタム系抗生物薬まで分離できる酵素のことです。これらを產生する細菌は、使用できる抗菌薬が少ないことから問題となります。実験は、2つの起源(ヒトと環境水)から分離したESBL產生

から、渡部徹先生をはじめとした研究室の先輩や友人に感謝申し上げます。

最後に、学部3年生から研究の指導をいただいていた西山正晃先生には、研究の楽しさや、実験の基礎、発表資料作成からプレゼンテーションに至るまで、多く

の指導をいただきました。また、渡部徹先生をはじめとした研究室の先輩や友人には公私ともお世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。



花笠サークル「四面楚歌」

外塚 未夢

(食料生命環境学科)

アグリサイエンスコース3年)

（）んには、花笠サークル四面楚歌20代の外塚未夢です。花笠サークル四面楚歌について名前の由来や活動内容について説明します。

現在、花笠サークル四面

楚歌は160名以上の学生が所属しています。民族文化サークル四方山会に所属して、いた四面楚歌初代会長の「山形大学の学生が気軽に花笠を踊れる場所はないのか?」という思いからサークルを発足し、今年で22年目を迎えました。初期メンバーは20~30人で、四方山会で受けきれなかつた依頼を四面楚歌に回してもらっていました。目的は「見てくれるお客様を笑顔にして、元気を届けること」であり、今現在もこの目的を果たすため、日々花笠の練習に励んでいます。また、四方山会とは笠回し系の花笠踊りを踊っている団体であり、現在は河合克行さんのが会長を務めております。花笠踊り発祥の地である尾花沢市の笠回し五流派をアレンジして山形市の笠回しの原型を創りました。踊りの種類である、飛び

波、上町行進、寺内行進、番傘を作成したのは河合会長です。また、毎年9月に行われている「みちのく阿波踊り」の企画、運営も行っていた四面楚歌初代会長が敵だけである傘を作成したのは河合会長です。また、毎年9月に行われている「みちのく阿波踊り」の企画、運営も行っています。

次に、四面楚歌の名前の由来です。四面楚歌とは本来、周りを敵に囲まれて絶体絶命という悪い意味で使われています。しかし、私たちちは周りを敵ではなくお客様に囲んでいただき、一緒に演舞を楽しんでいただきたいという意味で使われています。また、

四方山会という名前も山形県は四方を山に囲まれているということから、周りが敵だけである」とし、その状況を「四面楚歌」と表現し、四方山会の仲間であるとして命名しました。

次に活動についてです。四面楚歌は大きなイベントだと、4月の入学式、6月の東北絆祭り、8月の花笠まつりがあります。一年を通して依頼をいただくため、雪が降る直前まで

県内外で演舞をさせていたいたしております。また、雪が降ってからも1年生への指導や春の入学式に向けて毎週練習を行っております。また、四面楚歌は各キャンパスごと活動しており、農学部は約15名が所属しております。去年から庄内での依頼も増えてきて、松ヶ岡開墾場やざんざ夏祭り、三川町等様々な場所で演舞させていただきました。今後の予定は、10月29日に

山形大学高坂農場での農場フェス、11月4日と5日に鶴寿祭に出演します。農学部四面楚歌は、他のキャンパスに比べると人もイベント数もまだまだ少ないですが、これからより庄内の皆さんに笑顔になつていただけるように頑張っていきます。

四面楚歌にはHPやX (旧twitter)、Instagramがありますので、ぜひご覧ください。依頼、お待ちしております!!



わま、）んには、農学研究科農学専攻生物環境学領域1年齋藤静香です。この度、Water and Environment Technology Conference Online 2023 (WET) に発表した「In-vitro Experiment to Evaluate Persistence of Coliform Bacteria Producing Extended-Spectrum β -lactamase and Conservation of Relevant Genes」



この度、Water and Environment Technology Conference Online 2023 (WET) に発表した「In-vitro Experiment to Evaluate Persistence of Coliform Bacteria Producing Extended-Spectrum β -lactamase and Conservation of Relevant Genes」

この度、Water and Environment Technology Conference Online 2023 (WET) に発表した「In-vitro Experiment to Evaluate Persistence of Coliform Bacteria Producing Extended-Spectrum β -lactamase and Conservation of Relevant Genes」

この度、Water and Environment Technology Conference Online 2023 (WET) に発表した「In-vitro Experiment to Evaluate Persistence of Coliform Bacteria Producing Extended-Spectrum β -lactamase and Conservation of Relevant Genes」